

明治安田 インフォメーション2023



MYリンクコーディネーター イメージキャラクター
環 亜希(たまき あき)

©スタジオ地図 ©J.LEAGUE

ひとに健康を、まちに元気を。

INDEX

社長メッセージ	P1
明治安田フィロソフィーについて	P2
2030年にめざす姿について	P3-4

2022年度決算のお知らせ

■健全性について	P5
■収益性について	P6
■配当のお支払いについて	P7
■保険金・給付金・年金のお支払いについて	P8

お客さま・地域社会とともにつくりだす価値のご報告

■アフターフォローについて	P9-10
■2「大」プロジェクトについて	P11-14
■スポーツへの支援について	P15-16
■SDGsの取組みについて	P17-18



「確かな安心を、 いつまでも」 お届けしてまいります



明治安田生命保険相互会社 取締役
代表執行役社長 グループCEO

永島 英器

当社は2020年4月に、10年後(2030年)にめざす姿を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定め、当社の「社会的価値」と「経済的価値」の双方の向上をめざす10年計画「MY Mutual* Way 2030」をスタートしました。

10年後(2030年)にめざす姿の実現に向けた成長軌道の確保に取り組み

2021年度から開始した3カ年プログラム「MY Mutual Way I期」では、「営業・サービス」「基幹機能・事務」「資産運用」「相互会社運営」の各分野において制度・インフラ等の抜本的な見直しを行なう「4『大』改革」と、お客さまの健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」の「2『大』プロジェクト」に、「デジタルトランスフォーメーション(DX)戦略」を融合させ、「10年後(2030年)にめざす姿」の実現に向けた成長軌道の確保に取り組んでまいりました。

2022年度は、ロシアのウクライナ侵攻をはじめとした地政学リスクの高まりや、新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染急拡大等もあり、経済・金融環境をはじめ経営環境が大きく変化した、まさに激動の一年となりました。そのような環境下においても、当社は引き続き高い健全性を確保するとともに、「お客さま満足度」調査における総合満足度が4年連続で過去最高値を記録するなど、所期の成果を挙げられたものと考えています。

地域社会や地域のみなさまの発展、持続可能な社会の実現に貢献する取組みを推進

3カ年プログラム「MY Mutual Way I期」の最終年度となる2023年度は、従来の保険商品・サービスのご案内やコンサルティング活動のみならず、**お客さまの健康づくりへの支援や、豊かな地域社会づくりをサポートする、社会貢献型の活動を展開することで、地域のみなさまの発展に貢献してまいります。**

主な取組みとして、日本赤十字社との協働取組みや、Jリーグの社会連携活動(シャレン!)と一体での「シャレン!で献血」を展開するなど、地域のみなさまの健康や暮らしの充実へのさらなる貢献に向けた取組みを行なってまいります。

これらの健康寿命の延伸、地方創生の推進に資する取組みに加え、持続可能な社会づくりへの貢献に向けた取組みとして、環境保全・気候変動への対応や、金融包摂(みんなにやさしい保険アクセス)、人権の尊重、こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承等の取組みも推進するなど、当社は今後も、さらなる社会的価値・経済的価値の向上をめざしてまいります。

今後とも、末永くご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ Mutual は「相互の」という意味であり、保険会社のみ認められている特別な会社形態「相互会社」も意味しています。相互会社は、ご契約者(社員)が会社の構成員であることから、ご契約者の利益を最優先とした長期安定的な経営が可能となると考えています。



私たちの羅針盤

明治安田フィロソフィー

明治安田フィロソフィーは、当社の基本的な理念を示すものとして、経営理念、企業ビジョン、明治安田バリューで構成しています。私たちは、お客さまに「確かな安心を、いつまでも」お届けすることを使命に、お客さま・地域社会・未来世代・働く仲間との絆を大切に、「人に一番やさしい生命保険会社」をめざしていきます。

Mission

経営理念

私たちの存在意義・使命

確かな安心を、いつまでも

Vision

企業ビジョン

私たちのめざす姿

信頼を得て選ばれ続ける、
人に一番やさしい生命保険会社

お客さま
との絆

地域社会
との絆

未来世代
との絆

働く仲間
との絆

お客さま志向・倫理観

一. 私たちは、お客さまを大切にし、高い倫理観のもと行動します。

挑戦・創造

一. 私たちは、果敢に挑戦し、新しい価値を創造します。

協働・成長

一. 私たちは、働く仲間と互いに助け合い、共に成長します。

Value

明治安田バリュー

私たちが大切にする価値観

社長メッセージ | 明治安田フィロソフィーについて

明治安田生命プロフィール（2023年3月末）

正式名称	明治安田生命保険相互会社	総資産	44兆2,472億円
創業	1881年(明治14年)7月9日	保有契約 年換算保険料	2兆1,705億円(個人保険・個人年金保険)

2030年に

「ひとに健康を、まちに元気を。」

時代を超え
お客さま

(経営の)

時代を超えて「確かな安心を、い
「新たなアフターフォロー」をお
100年先も続く安定した経営をし

地域社会のお客さまに
最も支持される生命保険会社

(社会的価値の向上)

- お客さま一人ひとりに寄り添った究極のアフターフォローと、お客さまが暮らす地域に密着した活動で、地域に密着した最も身近な生命保険会社をめざします
- 地域のみなさまの暮らし・健康を豊かにするためのさまざまな取組みを全国各地で展開します

強固な事業基盤と国内外に広がるネットワーク

1,200万人を
超えるお客さま



1,100を超える全国規模の
営業拠点ネットワーク



めざす姿



MY
Mutual
Way2030



さらに
詳しく ▶



最も身近なリーディング生保へ

で進化する ま志向

基本姿勢)

「つまでも」お届けしていくために、
お客様の生涯にわたって提供し、
ていきます

業界の リーディングカンパニー

(経済的価値の向上)

- 将来のいかなる環境変化のなかでも、100年先も続く安定した経営をベースに、つねに国内トップクラスと評価されるような生命保険会社をめざします
- 国内生保分野での各地域のシェア拡大とともに、資産運用や海外保険分野でもさらなる収益の向上、そしてトップクラスの健全性を堅持します

2030年に向けた経営ビジョン

47,000人を超える従業員



海外ネットワーク
保険会社4カ国6社



高い健全性と収益性を確保して

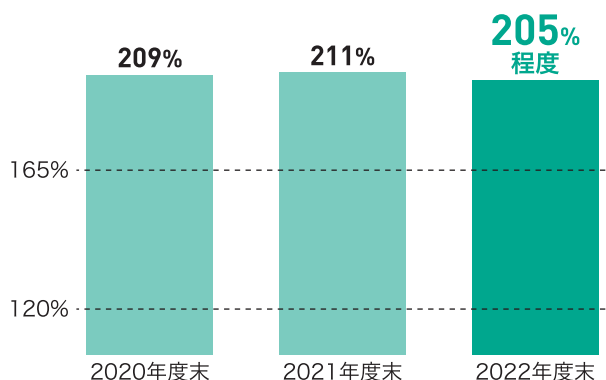
安定的な配当還元等の前提となる健全性(165%以上)を確保しています

グループESR

205%^{※1}程度



十分な自己資本が確保できているかを示しています



※1 2023年5月10日時点の速報値

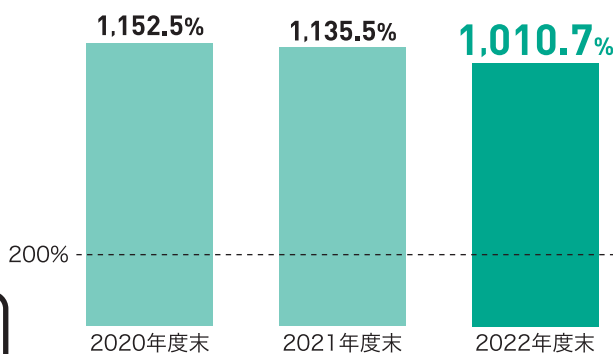
大災害や株価の大暴落等、通常の予測を超えて発生するリスクにも対応できる支払余力^{※2}を確保しています

連結ソルベンシー・マージン比率

1,010.7%



保険金等を確実にお支払いするための支払余力を示しています



※2 200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象となります

健全な財務内容で、格付会社から高い評価を得ています

※「保険金支払能力」「保険金支払能力格付」は、保険会社の保険債務が約定どおりに履行される確実性についての意見です。「保険財務格付」は、保険契約に基づく優先債務を遅滞なく履行する保険会社の能力に関する意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です

※上記の格付は、当社が依頼して取得したものです

います



健全性について
収益性について

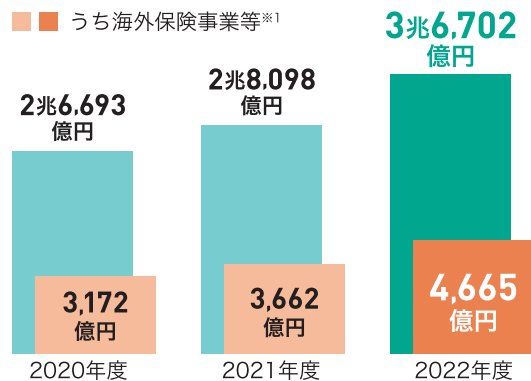
多くのお客さまにご愛顧いただいています

グループ保険料

3兆6,702億円



生命保険会社の売上を
表しています



※1 国内生命保険事業以外の合算

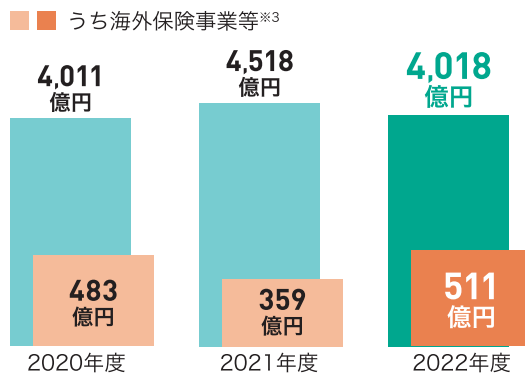
引き続き高い収益性を確保しています

グループ基礎利益^{※2}

4,018億円



生命保険会社の本業の
利益を表しています



※3 国内生命保険事業以外の合算

※2 2022年度より基礎利益の算定方法について改正。これをふまえ「2020年度」「2021年度」「2022年度」は改正後の数値を表示

(2023年5月1日現在)

格付投資情報センター(R&I)
保険金支払能力

AA-

日本格付研究所(JCR)
保険金支払能力格付

AA

ムーディーズ(Moody's)
保険財務格付

A1

S&P
保険財務力格付け

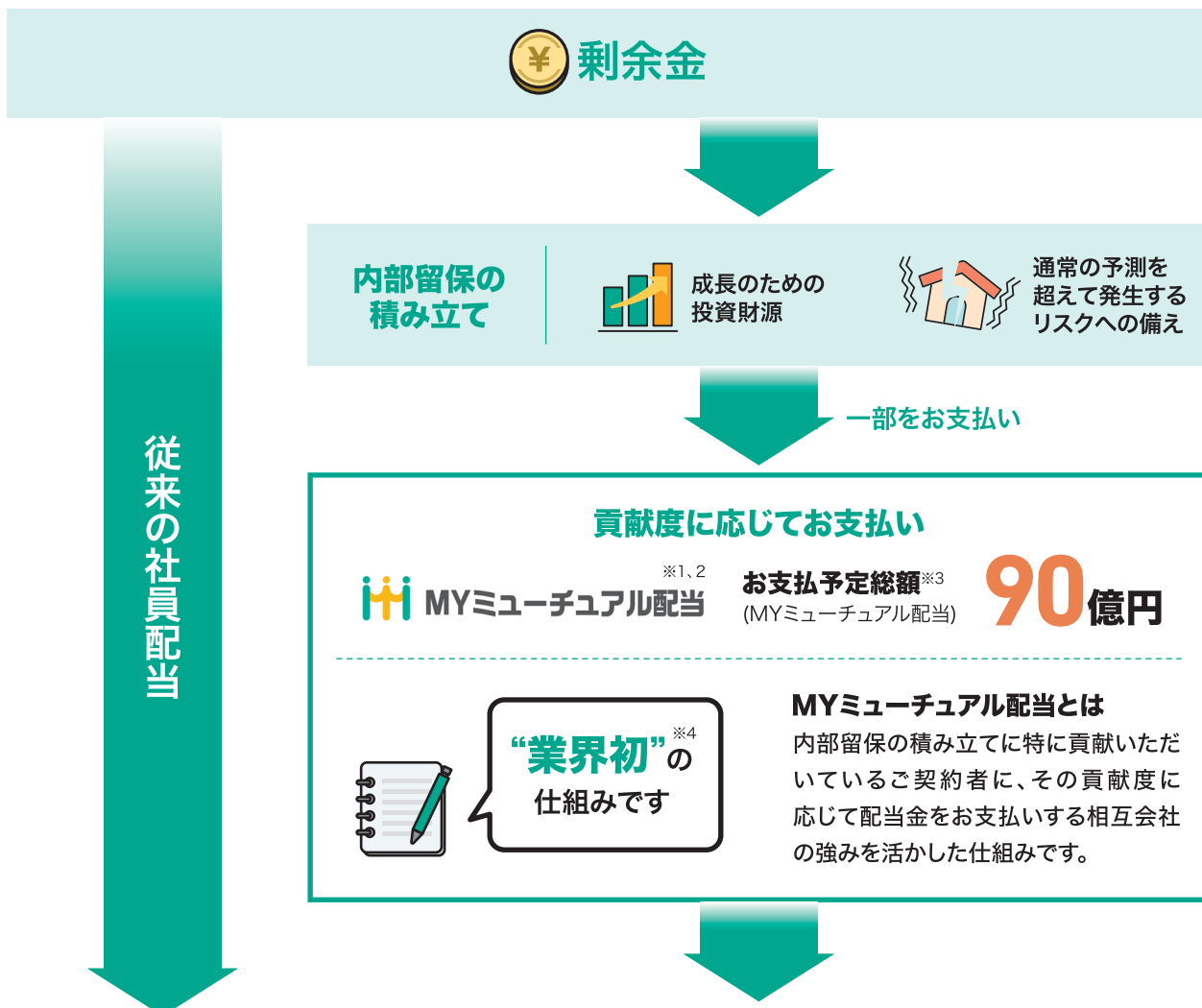
A+

*記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です
*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません
*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります

安定した配当還元 に努めています



配当のお支払いイメージ



中長期的に安定した配当還元を行なっています

お支払予定総額 ※3
(個人保険・個人年金保険)

272 億円

※1 ベストスタイル等の保障性商品が対象であり、経過20年目から、以降10年ごとにお支払いします。詳細はページ右上の2次元コードからご確認ください

※2 会社の健全性の状況により、MY Mutual Distributionをお支払いできない場合があります

※3 2022年度決算における剰余金処分案に基づいた社員配当準備金繰入額(2023年度のお支払いへの備え)になります

※4 当社調べ

「確かなお支払い」に取り組んでいます

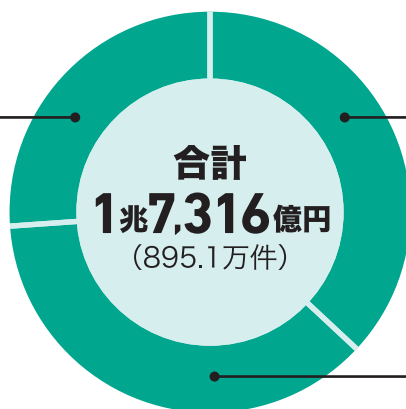


配当のお支払いについて
— 保険金・給付金・年金のお支払いについて

2022年度にお支払いした保険金・給付金・年金

1日あたり **約47億円**

給付金
4,517億円
(304.2万件)



保険金
6,437億円
(17.6万件)

年金
6,361億円
(573.2万件)

新型コロナウイルス感染症でお支払いした保険金・給付金

【累計】^{※1}
215.4億円 (3,475件)
【うち2022年度】
100.9億円 (1,788件)

【累計】^{※1}
578.4億円 (698,757件)
【うち2022年度】
498.3億円 (621,008件)

うち入院されたものとみなしたお支払い
【累計】^{※1} **559.3億円** (688,153件)
【うち2022年度】 **492.5億円** (618,265件)

お支払事例

万一のとき



40代 男性

(ご加入から2年9ヵ月)

脳出血で救急搬送。
発症から9日後にご逝去

死亡保険金

3,000万円^{※2}

重度疾病にかかったとき



30代 女性

(ご加入から6年)

がん検診で異常が見つかり、
子宮頸がんを診断

がん保険金

200万円^{※3}

働けなくなったとき



50代 女性

(ご加入から7年2ヵ月)

入浴中に体調異常、意識消失し病院を受診。
心臓機能障害が判明し、ペースメーカー移植術を
施行。その後、身体障害者手帳の交付を受ける

生活サポート終身年金(一生涯)

120万円(年額)^{※4}

※1 期間は2020年4月～2023年3月です

<お支払事例に記載のお支払金額は、以下特約例の場合の金額です。特約の組み合わせには、当社所定の制限があります>

※2 【40代男性/ベストスタイルご加入】定期保険特約:3,000万円

※3 【30代女性/ベストスタイルご加入】がん保障特約:200万円

※4 【50代女性/ベストスタイルご加入】生活サポート終身年金特約:120万円

お客さまに寄り添った 「Shoulder to Shoulder」 を実践します

ショルダー

トゥ

ショルダー

MYリンクコーディネーター等（営業職員）が 必要な情報・サポートをお届けします



©スタジオ地図 ©J.LEAGUE

お客さまのニーズや課題に寄り添い、必要な情報や各種サポートを、お客さまのご要望に沿った方法でお届けします

お客さまに寄り添ったサービスをお届けします

あなたの想いを、未来へ届ける。



エピローグ・レター

ご主人からメッセージを受け取った 奥さまの感想

夫がそばに帰ってきてくれたようで、
嬉しさとせつなさが重なります。

このメッセージは心の支えとなる宝物
です。大切にします。

岡山県 70代 女性



生命保険に込めた“伝えたい思い”を
万一のときに死亡保険金受取人様へ
お届けします（ご利用は無料です）

累計登録件数 **17.3万件**
(2022年度末)

「ACAP※消費者志向活動章」を受賞!

「生命保険契約者が生命保険に託した想いを手書きの
メッセージでお預かりしてお届けするという発想」等が評価
されました



※ 企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当者で構成する組織として、企業の消費者志向経営の推進、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動等を行なっている

明治安田の
Shoulder to Shoulder
——お客さまに寄り添う——

Shoulder to Shoulderに
込めた想い

お客さまとの絆を紡ぎ、お客さまの豊かな人生や生活の質の向上を実現するためにいつもお客さまを想い、同じ方向をむいて、そっと寄り添い続けます



さらに
詳しく ▶



お客さまにあわせたサポートをします

「事務サービス・コンシェルジュ」が
お手続きのサポートや各種サービスのご案内をいたします



「みんなにやさしい保険アクセス」の取組み

ご高齢の方へ

- MY長寿ご契約点検制度
- MY安心ファミリー登録制度
- 「MYアシスト+」制度
- 契約者手続サポート制度(2023年6月)

障がいをお持ちの方へ

- 耳や言葉がご不自由なお客さま専用窓口
- 手話リレーサービス
- チャットボットサービス

性的マイノリティ(LGBTQ)の方へ

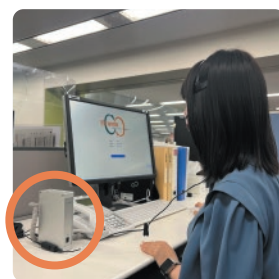
- 同性パートナーの死亡保険金受取人等指定
- 同性パートナーの第二連絡先登録

外国人の方へ

- 5カ国語によるお問い合わせ窓口・通訳サービス
- ご説明資料の外国語でのご提供

明治安田発案の サウンドアーチ -声の架け橋-

電話音声を明瞭に変換する機器をお問い合わせ窓口等に設置するとともに、地域課題解決への貢献に向け、当社と連携協定を締結する地方自治体に寄贈しています



認知症バリアフリー社会の実現に貢献する取組み

認知症サポーターの養成

「認知症バリアフリー宣言」^{※1}を公表し、その一環として、厚生労働省が推進する「認知症サポーター」^{※2}の養成に取り組んでいます

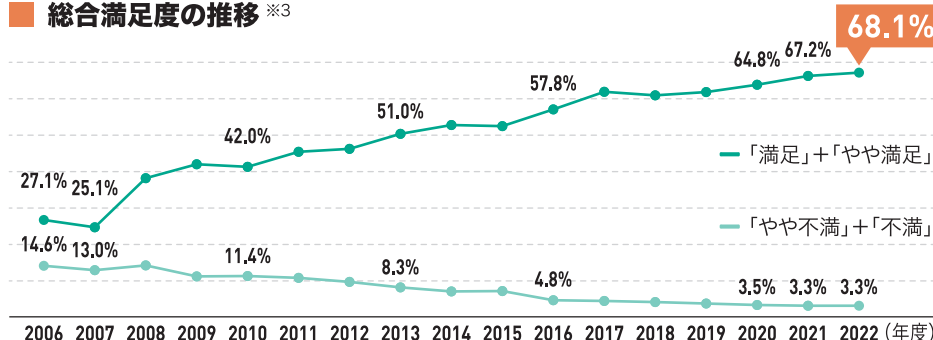


※1 「日本認知症官民協議会」が運営する、認知症になってからでも、できる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けるための障壁を減らせるよう、企業・団体と連携して社会全体で支えあう制度

※2 認知症の方に寄り添った対応ができる人材

おかげさまで、2022年度のお客さま満足度は過去最高値となりました

総合満足度の推移 ^{※3}



総合満足度
68.1%

営業職員満足度
70.3%

商品満足度
69.2%

※3 2006年の調査開始以来、「①満足」「②やや満足」「③ふつう」「④やや不満」「⑤不満」の5段階評価のうち、「①満足」+「②やや満足」の割合

ひとに健康を、まちに元気をお届け



健康を、いっしょに育てよう。

健康増進をサポートする3つの分野

商品

健康ステージに応じてサポートする「健康増進型保険」をご提供します

万を支える、健康を応援する

ベストスタイル
健康キャッシュバック

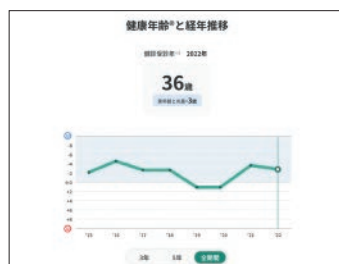
[5年ごと配当付組立総合保険]



※1

サービス

健康に関する情報・アドバイスをご提供します



MY健活レポート画面のイメージ(健康年齢®)※2

アクション

健康づくりをサポートするイベント等をご案内します



道の駅での「明治安田生命の健康チェック」イベント

※1 「ベストスタイル 健康キャッシュバック 女性がん・早期発見サポート」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」「がん検診支援給付金付女性がん保障特約(2023)」を付加した場合の販売名称です

※2 株式会社JMDCの登録商標です

消費者庁主催の「消費者志向経営優良事例表彰」で、
2度目の「消費者庁長官賞」を受賞しました

けします



つながり、ふれあい、ささえあう 地域社会を。

地域で創出する3つの社会的価値

地域の
みなさまの
健康保持・
増進

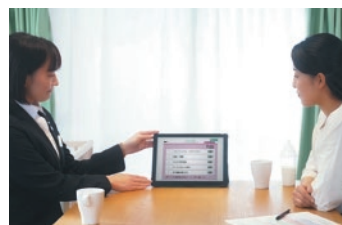
健康増進イベントや、
献血の啓発活動等を推進します



日本赤十字社山形県支部への寄付金贈呈式

地元への
愛着と暮らし
やすさの向上

生活課題の解決に役立つ
行政サービスのご案内、金融・
保険教育、若手アスリートの
支援等を行ないます



情報のご案内イメージ

地域を支える
企業・団体の
持続的な成長

「健康経営®」※をサポートし、
意欲的に働ける職場づくりに
貢献します



協会けんぽ島根支部との連携協定締結式

※ NPO法人健康経営研究会の登録商標です

お客さまの健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」や
豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」
等のお客さま志向の取組みが評価されました



消費者
志向経営



地元のみなさまのパートナーであり

2022年度単年の実績を記載しています



「みんなの健活プロジェクト」取組状況

健康サポート・キャッシュ
バックお支払実績

56.5億円

直近1年間で健康意識
が高まった人※1の割合※2

76.1%

(健康増進型保険ご加入者における割合)

プロジェクト
参加者数

156.3万人

1

道の駅での健康
増進イベントの開催

開催回数

496駅
1,234回



千葉支社

2

祭事への
助成・参加

助成・ブース出展数

277 祭事
400 回



福井支社

3

スポーツへの支援
(詳しくはP.15-16参照)



©J.LEAGUE



若手アスリートへの
支援数

76名

(2023年度
応援アスリート)



馬場咲希選手(ゴルフ)も応援しています

4

日本赤十字社
との連携

連携支部・協働取組数

47 支部
207 回

※1 従来から健康意識が高く、その状態を維持している人を含みます。コロナ禍による意識の向上を除きます

※2 当社実施の2022年健康に関するアンケート調査より

※3 2022年度末累積実績

続けます



お住まいの地域の取組実績は、
「わがまちインフォ」でご紹介しています



郡山支社



「地元の元気プロジェクト」取組状況

「私の地元応援募金」
寄付金

5.2億円

自治体との
連携取組数

4,170回

プロジェクト
参加者数

370万人



7

公民館での
「定期講座」の開催

開催講座数

2,403館
4,121講座



千葉南支社

6

自治体との
連携

連携協定締結数

38都道府県
873市区町村^{※3}



秋田支社

5

協会けんぽ各支部
との連携協定の締結

締結支部数

40支部^{※3}

企業・団体の
「健康経営[®]」認定支援

サービス導入企業数

1,772企業

(「健康経営[®]」はNPO法人
健康経営研究会の登録商標です)



名古屋本部



丸の内本社・団体献血の様子

2「大」プロジェクトについて

スポーツの力で健康と元気を後押

わたしたちは



明治安田生命
J.LEAGUE

©J.LEAGUE

のタイトル
パートナーです

スポンサー
契約締結数 **全60** クラブ等^{※1}



「第3期タイトルパートナー契約」締結式

Jリーグ
ウォーキング

86 回開催
25,174 人参加^{※2}



長野支社

スタジアム
観戦者数

215,590 人^{※2}



名古屋総合法人部

小学生向け
サッカー教室

170 回開催
11,953 人参加^{※2}



苫小牧支社

Jリーグの社会連携活動「シャレン！」^{※3}を応援しています

シャレン!で**献血**

Jリーグの社会連携活動「シャレン！」とともに、当社とJリーグ全60クラブ、日本赤十字社で、全国のスタジアム等で献血の啓蒙活動を行なう「シャレン!で献血」を実施します



※1 全60クラブと全国の支社等が個別にスポンサー契約を締結

(Jクラブがない都道府県においては、JFL・地域リーグ等に所属するクラブとスポンサー契約を締結)

※2 2022年度実績

※3 社会課題等に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校等とJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動

しています



わたしたちは



JLPGA

(日本女子プロゴルフ協会)

のオフィシャル パートナーです

全国各地で **協働取組み** を展開



JLPGAツアー大会の一部に「健活ブース」を設置

JLPGAステップ・アップ・ツアー

「明治安田レディスオープンゴルフトーナメント」への特別協賛



2023年11月2日~4日
大阪府にて開催

JLPGAツアー

「明治安田生命レディスヨコハマタイヤゴルフトーナメント」への特別協賛



2023年3月
高知県土佐カントリークラブ

JLPGAプロの派遣

JLPGAプロによるティーチング活動を全国のゴルフイベントで実施



©JLPGA

3名の所属選手とともに心身の健康を育む機会をお届けしています

当社所属の3選手(左から、小倉彩愛選手、勝みなみ選手、鶴岡果恋選手)が出演する健康増進に向けた動画コンテンツ等を提供しています



スポーツへの支援について

未来のために、明治安田が今でき

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特に注力する優先課題

2「大」プロジェクトを通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます
(詳しくはP11-14参照)

健康寿命の延伸



3 すべての人に
健康と福祉を



地方創生の推進



11 住み続けられる
まちづくりを



さらなる取組みが必要な優先課題

事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化しています

環境保全・気候変動への対応



その他の優先課題

- 金融包摂(金融アクセスの確保等)
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備



環境保全・気候変動への対応

脱炭素社会の実現に貢献するため2050年度にCO₂排出量ネットゼロに取り組みます

事業者としてのCO₂排出量削減への目標と取組み

	Scope1・2 ^{※1}	Scope3 ^{※2}
2021年度実績	△31%	△19%
2030年度目標	△50%	△40%
2050年度目標	△100% 排出量ネットゼロを実現	

(2013年度比)

機関投資家としてのCO₂排出量削減への目標と取組み

	Scope1・2 ^{※4}
2021年度実績	△34%
2030年度目標	△50%
2050年度目標	△100% 排出量ネットゼロを実現

(2013年度比)

再生可能エネルギー導入の推進

Scope1・2のうち約8割が事業活動で使用する電力由来であることをふまえ、再生可能エネルギーの導入を推進しています。主要な本社機能が入居するビル3棟^{※3}での使用電力、年間約4,570万kWhをすべて再生可能エネルギーに切り替えました。



(本社ビル等へ再生可能エネルギーを導入)



CO₂を排出しない再生可能エネルギーは、脱炭素社会実現のための重要な手段の一つです

ESG投融資の推進

2021年度からの3年間で5,000億円の投融資を実行する計画に対し、2022年度末までに累計約7,000億円と前倒しで達成したため、計画を8,000億円以上に引き上げ、推進しています。



©IDB Invest
(脱炭素社会の実現に資する「トランジション・ボンド」への投資)



ESG投融資とは、財務情報だけでなく、非財務情報の環境や社会、ガバナンスといった要素も考慮して、投融資する方法です

※1 Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出

※2 Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、6つのカテゴリ(1、3、4、5、6、7)に限定して算出。カテゴリ15(投資)は機関投資家としての排出量として管理

※3 本社所在地である明治安田生命ビル(明治生命館含む)および、明治安田生命新東陽町ビルおよび明治安田生命事務センタービル

※4 国内上場企業の株式・社債・融資が対象

明治安田公式SNSでは、全国各地の取組みについて、最新情報をお届けしています



公式SNSは
ブランドサイトから



さらに
詳しく ▶



明治安田生命×小田和正さん

CMに楽曲を提供いただいている小田和正さんが全国ツアーを開催。当社は本ツアーに特別協賛しています

明治安田生命Presents

こんどこそ、君と!!

Kazumasa Oda Tour 2023



特設サイトはこちら

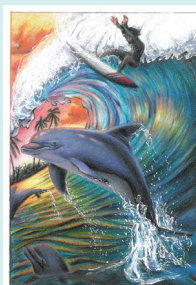


第3回 明治安田生命大人の塗り絵コンクール

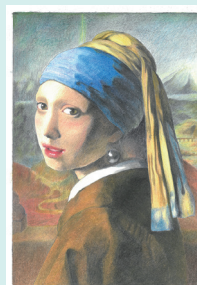
応募期間:2023年5月26日(金)~8月31日(木)

脳の活性化やリラックス効果が期待される塗り絵コンクールを30歳以上の方を対象に開催しています

累計応募者数 **119,040人**



第1回 金賞作品例



第2回 金賞作品例

チャットサービスによるお問い合わせ

ホームページから「チャットボット」や、専門オペレーターの「チャット」、フォーム入力「かんたんお手続きフォーム」をご利用いただけます

ご利用は
こちら



お電話によるご相談窓口

月曜~金曜 9:00~18:00 / 土曜 9:00~17:00 (いずれも祝日・年末年始を除く)

コミュニケーションセンター



0120-662-332

ご高齢のお客さま専用のお問い合わせ窓口



0120-809-127

外貨建保険・金融機関窓口
販売商品のお問い合わせ窓口



0120-453-860

*受付時間については変更の可能性があります。詳細は当社公式ホームページでご確認ください

- 生命保険募集人は、お客さまと明治安田生命の保険契約締結の媒介を行なう者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申し込みに対して明治安田生命が承諾したときに有効に成立します
- 掲載のサービス・イベント等は一例です。サービスは、明治安田生命にご契約のお客さまのみご利用いただけます(一部例外や条件があります)。また、各サービス・イベントの画像の一部はイメージです

明治安田生命保険相互会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

TEL 03-3283-8111(代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています

